

2022年4月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	1,625,506	340,096	478.0%	39,117,092	4.2%
国内旅行	2,483,833	1,826,172	136.0%	5,174,436	48.0%
訪日旅行	5,794	6,688	86.6%	3,023,623	0.2%
合 計	4,115,133	2,172,956	189.4%	47,315,151	8.7%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ 5 社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ以前と比較するため、2019年同月比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

4月より 106 カ国・地域における「感染症危険情報」がレベル 3 の「渡航中止勧告」からレベル 2 の「不要不急の渡航自粛」に引き下げをはじめ、日本における一日あたりの入国者数の上限を 1 万人に引き上げる等、海外渡航にむけた緩和の動きが見られました。そのような外部環境もあり、前年同月比より高い伸びを示したものの、引き続き募集型企画旅行を不催行としており^{*}、2019年同月比においては、回復に至っておりません。

以上の結果、海外旅行の取扱高は、前年同月比 478.0%、2019年同月比 4.2% の 16 億 2,550 万円となりました。
^{*}募集型企画旅行は 5 月出発以降、順次再開を発表しています。

2. 国内旅行

年明けから「オミクロン株」の急激な感染症拡大したことにより、春休み・大型連休のレジャーマーケットの予約が鈍化しておりましたが、3月に「まん延防止等重点措置」が全面解除されたことや、国の観光支援事業である「県民割」が全国 6 ブロックに分けた領域内での旅行に拡大されるなど、国内旅行需要再開の動きが見られました。特に、4月に入ってから GW 出発（4/27～4/30）のお申込みが顕著であり、さらに、「沖縄 LeaLea キャンペーン」による、沖縄へ送客が単月での送客シェア 4 割を占めるなど、取扱高を牽引いたしました。

以上の結果、国内旅行の取扱高は、前年同月比 136.0%、2019年同月比 48.0% の 24 億 8,383 万円となりました。

3. 訪日旅行

4月 8 日より 106 カ国・地域を上陸拒否の対象が解除されたものの、観光目的の新規入国は認められていない状況が続いていることにより、訪日旅行の取扱高は、前年同月比 86.6%、2019年同月比 0.2% の 579 万円となりました。

以上の結果、2022年4月の取扱高総計は、前年同月比 189.4%、2019年同月比 8.7% の 41 億 1,513 万円となりました。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R 室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177